

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	GOODMORNING 8 IMABARI					
実施団体名	海城街Project					
事業概要	<p>【事業目的】 しまなみ海道・せとうちみなとマルシェ・今治城と連携し、中心市街地も少しずつでも回復していく力をつけ、後世につなげていく、持続可能な体制を創り上げる。</p> <p>【事業内容】 せとうちみなとマルシェ・子どもが真ん中フェスタと連携。「商店街及び港でモーニングを食べよう」をテーマに新町商店街を空間デザインし、みんなでワイワイしながら食べる空間・街の気分づくりを実施した。</p>					
事業の発展性	新町を会場にして事業を実施したことで中心市街地のレジリエンス（復元力）について確信が持てた。これから展開についての方向性や課題を様々な立場の人と共有し、今後の活動継続や展開に向けて考えていく。					
補助額	市補助額	500,000 円	総事業額	747,556 円	補助対象経費	747,556 円
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果> 新町を会場にすることにより、商店街からみなとまでの導線の一体感ができた。また道をリビングとする魅力都市創生課と協働により街を“彩る”事業を展開できた。</p> <p><事業を実施しての問題点> 「レジリエンスの垂統」をコンセプトとし、中心市街地のレジリエンス（復元力）を活かし、垂統（事業を後世に伝えること）していく体制づくりを目指しました。</p> <p>中心市街地の持つレジリエンスは証明できたが、事業を恒常に推進する組織・人づくりには時間がかかる。</p> <p><問題点に対する解決策> 商店街等でのイベント及び事業を展開するには、受益者の存在を明確にする必要がある。イベント等を開催するのは「誰のためなのか、誰が利益を得るのか」を明確にし、受益者と共に展開する必要がある。</p>				
コメント	市民活動推進委員会	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗でなく商店街の中央を会場にしたのでテーブル・椅子のレンタル料が発生したが、他のイベントとの一体感を高め集客に繋げるという意味で適当である。空き店舗の活用は考えないのであるか？ ・認知度を高めるためには、単発なイベントではなく定例的な開催が必要であると思う。継続的な開催ができるか不安が残る。みなとマルシェなどと連携して、一過性のものとならないよう今後も継続し、商店街の活性化につなげてほしい。 ・映像を見た感じではもう一步盛り上がりに欠けている印象。近くでの大きなイベントに行く客に寄ってもらうという手段もいいが、楽しそうなイベントなので、もう少し予告や周知に注力したら集客面で違ったかもしれない。 ・公益性という点では弱いと思われるが、せとうちみなとマルシェとの一体感は良く、トートバッグ、開場新町の波々のモニュメントデザインがよかったです。 ・何度も活性化を試みられている商店街でデザイン性を前面に出した企画内容は新しい切り口でよかった。事業を通しての課題、受益者などを明確にしていく事が解決につながるということを共有したことも今後のまちの活性化のヒントとして事業成果になり得る。 ・せっかくのイベントなのに商店街の店舗の多くがシャッターを閉めていた。当初は空き店舗を使う予定だったので、事業目的の中心市街地の回復という点から、今後こういった点も検討していただければと思う。 ・良いものがあっても、そこが主体性をもってやらないとできないというのは、色々なところで共通する課題である。商店街の方達が主体性を持ってやらないと続けるのが難しいように思う。どう持たせるか、そこが難しいが、きっかけ作りを継続的に、他所の人や若い人、色んな人と携わりを作っていく、という今後の方向性が見えているということで、これからに期待したい。 				